

いこま 市議会のうごき

<http://www.ikoma-shigikai.jp/>

発行/平成28年8月1日 編集/生駒市議会 広報広聴委員会
〒630-0288 生駒市東新町8番38号 TEL0743-74-1111 (内線604)

No. 127

平成28年 (2016年)

5月臨時会

6月定例会

6月定例会

一般会計補正予算などを可決

平成28年生駒市議会第3回(5月)臨時会は、5月11日に開会しました。

この臨時会では、専決処分5議案および人事1議案を審議し、1報告の説明を受け、すべて原案のとおり承認、同意、了承し、議長・副議長をはじめとする議会役員を決定しました。

平成28年生駒市議会第4回(6月)定例会は、6月10日〜27日までの18日間で開きました。

この定例会では、「一般会計補正予算」など市長提案の14議案を審議し、4報告の説明を受け、すべて原案のとおり可決、了承しました。

また、議員提出議案の「二期介護保険制度改正における福祉用具貸与及び住宅改修に係る給付の見直しに関する意見書」を原案のとおり可決しました。



おもちゃ病院 (いこま環境フェスティバル)

6月定例会 議案審議

市PR動画の映画館上映などを含む

一般会計補正予算案を賛成多数で可決

6月定例会では、市長から一般会計補正予算案など14議案、議員から意見書1議案が提案され、12議案を委員会に付託して審査を行い、すべて原案可決しました。

一般会計補正予算案を賛成多数で原案可決

この補正予算案は、歳入・歳出にそれぞれ5608万2000円を追加

一般会計補正予算(第1回)のおもな内容	
項目	補正額
シティプロモーション事業 ・市PR動画の映画館上映 ・フェイスブックへの広告掲載 ・まちの魅力体感事業(イベント)の実施 など	1,245万円
地域活性化のための空き家の利活用の調査研究	440万円
1歳になるまでの乳児に対するB型肝炎予防接種の実施	1,276万円
北大和グラウンド・同野球場の指定管理料など	1,734万円

するもので、おもな内容は市PR動画の映画館上映、まちの魅力を体感するイベントなどのシティプロモーション事業、1歳になるまでの乳児に対するB型肝炎の予防接種、北大和グラウンドと同野球場の指定管理などに要する予算です。

質疑

市PR動画を映画館で上映する狙いは

問 大阪の映画館で市PR動画を3カ月間上映することで、どのような効果を考えているのか。

答 本市を知らない人に知ってもらい、本市を知っている人に市の魅力を感じてもらうことを目的としている。対象年齢層は特に限定せず、全スクリーンで上映するが、長い目で見て、本市に定住してもらうきっかけのひとつとしたい。

まちの魅力体感事業の内容は

問 まちの魅力体感事業は、具体的にどのような事業か。

答 子育て世代を対象として、市内外の人が住宅都市・生駒の魅力を体感できるイベントを業務委託で実施する。開催場所は生駒山麓公園を考えているが、具体的な内容はプロポーザルによる提案を踏まえて決定していきたい。



昨年度市PR動画の作成風景

他の調査・計画と整合するの

問 今回提案された地域活性化のための空き家の利活用の調査研究は、他部局で今年度実施する空き家実態調査、策定が検討される空き家等対策計画とどう関係するのか。

答 地域活性化における空き家の調査は、地域での利活用をおもな目的として実施するが、他部局の実態調

査の結果と合わせ、それぞれを空き家対策の資料としていかしていきたいと考えている。

年度内に規定回数予防接種はできるのか

問 1歳になるまでの乳児に対するB型肝炎の予防接種は3回必要とのことだが、接種間隔を考えた場合、10月以降の定期接種開始では、今年度に3回の接種を受けられない場合があるのでは。

答 7月の市広報など速やかに周知していくことで、国の示す時期に合わせた3回の接種ができると考えている。また、対象乳児が定期接種の開始までに任意で接種した場合の費用を補助することで、3回の接種をより可能としている。

反対討論

シティプロモーション事業は、施策全体の目的・指標を明確にし、本市の強み・弱みを分析した上で、目的にかなう個々の事業を効果的に実行できるよう、中期的なビジョンと戦略をまず示すべきである。

しかし、映画館での市PR動画上映は昨年度も実施していたが、事業の評価がされず、その効果や実施方法には疑問がある。また、イベントによるまちの魅力体感事業も効果に疑問がある。

北大和グラウンドと同野球場を体育施設とする条例改正を全会一致で可決

この議案は、HOS生駒北スポーツセンターの使用開始などにもなつて平成27年3月末に体育施設としての利用を終了した北大和グラウンドと同野球場について、改めて体育施設として利用できるようにするものです。

また、同グラウンドなどの指定管理者に一般財団法人生駒市体育協会

を指定する議案も併せて、全会一致で可決しました。

フルコンサートグラウンドピアノの購入を全会一致で可決

この議案は、ピアノ購入を目的とした寄附金を受けたことから、フルコンサートグラウンドピアノや音響反射板などについて、3332万5560円で購入するものです。

なお、同ピアノは、本年10月中旬から、たけまるホールで利用が開始される予定です。

西松ヶ丘の盛土の亀裂などについて報告を受ける

西松ヶ丘地内の砂防指定地における盛土に亀裂などが生じている件について、6月定例会の都市建設委員会と7月12日の企画総務委員会、現状、今後の取組、住民説明会の結果について報告を受けました。

今後の取組として、砂防指定地管理者である県がボーリング調査などを実施すること、市が周辺住民に避難行動の呼びかけや避難所の確保を行うことなどが示されるとともに、7月3日に開催された住民説明会で県が示した調査概要などが説明されました。



雨水の流入を防ぐため、ブルーシートで覆われた盛土

報告を踏まえ、委員会では、今後の県の対応を注視し、必要に応じて調査することとしました。

土砂などによる土地の埋立てを規制する条例制定を全会一致で可決

この議案は、自然環境の保全、土壌汚染や土砂の流出による災害発生の防止を目的として、国が定めた土壌の汚染に係る環境基準に適合しない土砂などの埋立てを禁止するとともに、一定規模以上の埋立てに対し、市の許可や検査などを要し、違反した場合に罰則を適用するものです。

次期介護保険制度改正に関する意見書を賛成多数で可決し、関係機関に送付

◎次期介護保険制度改正における福祉用具貸与及び住宅改修に係る給付の見直しに関する意見書

現行の介護保険制度での福祉用具貸与、住宅改修に係る給付は、高齢者自身の自立意欲を高め、介護者の負担軽減を図るといふ極めて重要な役割を果たしている。

平成27年6月に閣議決定された「骨太の方針」(経済財政運営と改革の基本方針2015)では、次期介護保険制度改正に向けて、軽度者に対する福祉用具貸与等に係る給付の見直しを検討することが盛り込まれ

た。

軽度者に対する福祉用具貸与や住宅改修費用が原則全額自己負担になれば、特に低所得者等弱者の切り捨てになりかねない。

また、福祉用具の利用や住宅改修が抑制され重度化が進行し、結果として高齢者の自立的な生活が阻害され、介護保険給付の適正化という目的に反し、給付費の増大につながる恐れがある。

以上の理由から、次期介護保険制度改正における福祉用具貸与、住宅改修に係る給付の見直しでは、高齢者の自立を支援し、介護の重度化を防ぐといった介護保険の理念に沿って、介護が必要な方の生活を支える観点から検討することを強く求める。

反対討論

本意見書は、「骨太の方針」での介護保険サービス切下げについて、その一部のみを問題にし、それ以外は不問としているが、それは、国民の介護に対する不安の解消、願いに応えることにならず、むしろ、改悪を前提とした容認を意味する。

また、具体的な事項を国に見せず、検討を求めただけにとどまっていることは、これまで具体的に国に見てきたことと矛盾し、腰が引けた内容で、相当でない。

ここが知りたい

本会議の一般質問

6月
10日～14日
定例会

質問者数 14人

掲載以外の一般質問もありますので、ホームページや後日発行の会議録をご覧ください。

改定介護保険制度の影響と今後の取組について

竹内ひろみ議員（日本共産党）

問 昨年の介護保険料引き上げと介護保険制度改定により、市民の負担は増え、事業者の経営は厳しくなっている。市の対応と今後の取組、方針は。

答 市では保険料の値上げは抑えており、保険料基準額は県下12市では最低額である。改定による不安を感じる方もおられるが、高額介護サービス費の支給制度や、低所得者のためにも様々な制度があり、引き続き積極的に制度、事業の周知に努める。また、初任者講習受講者へ補助金を出すなどの介護人材確保のための事業を実施している。

問 介護が必要になった際、在宅での介護生活を希望する人が7割という厚労省の調査結果がある。希望に添えるためには、地域に密着したきめ細かいサービスが求められる。現状と今後の方針は。

答 地域密着型サービスについては、事業計画に準じて、整備が進んでいる。

また、平成27年度に日中、夜間を通じて訪問介護・看護を適切に組み合わせ提供し、定期巡回・随時訪問型サービスを1カ所整備し、今後もサービスの充実を図る。

妊婦健診の公費助成について

下村晴恵議員（生駒市議会公明党）

問 本市の妊婦健診助成額である8万5千円を奈良県の集合契約と同額にした場合、市独自の契約から、県の集合契約に変更する考えはあるのか。

答 助成額の見直しを検討していく場合、額によっては、健診の契約方法の判断も変わってくることから、助成額および契約方法の双方を踏まえて考えていくことになる。

問 妊婦健診は、国が示す実施基準に沿って実施しているのか。

答 本市の健診では、回数ごとの検査項目は規定していないが、健診を実施する医療機関において、国の標準的な項目を理解された上で、実施されていると認識している。

問 公費助成は、1枚当たり2千5百円の基本券として、助成額分を交付されているが、使用しやすい額に変更する考えは。

答 基本券の利用状況からも、2千5百円の設定は妥当と考えており、変更に対する市民の要望などもないことから、早急に変更することは考えていないが、追加券については、課題はあるものの、検討の余地はあると考えている。

他の項目

● 一般不妊治療費助成について

若者の政策形成過程への参画は

成田智樹議員（生駒市議会公明党）

問 少子高齢化が急速に進む我が国において、若者の政治離れが進行すれば、政治的影響力が低下し、社会の沈滞化につながりかねない。市はどう考えるか。

答 行政課題の解決や新たな施策の検討のため、政策形成過程への参画を更に進める必要があると考える。

問 本市では、若者の政策形成過程への参画促進のため、どのような取組が実施されているか。審議会などに若者の登用は図られているか。

答 市ホームページをリニューアルし、ツイッターなどで情報発信している。また、社会教育委員に1名就任のほか、附属機関などの委員選任に公募市民登録制度を導入している。

問 投票率向上のため、昨年6月に議会で提案した、市民アンケートの実施、期日前投票所の増設などについて検討したのか。

答 経費的な問題もあり、市民アンケートは実施していないが、中学校での出前講座でアンケートを実施している。期日前投票所の増設は、人員体制、場所の確保、技術面などが課題で、今後検討していきたい。

他の項目

● 交通事故防止のための取組は



採用説明会で生駒市の魅力を伝える採用1年目の職員

職員採用改革について

片山誠也議員（無党派）

問 1次試験である筆記試験（SPI3）を通過し、面接などの2次試験に臨むことができるのは、約2割程度である。現状より面接中心の試験とするために、1次試験の合格者を増やすべきでは。

答 民間志望者に市のアピールをし、受験制限年齢を引き上げ、受験時期を早めるなど受験しやすい環境を整備した結果、今年度の大卒事務職の受験者数は928人であったことから、1次試験合格最低点は年々上昇しているため、来年度以降、2次試験面接受験者数を増やしていきたい。
問 最終面接だけでも、市長も面接に加わるべきでは。

答 面接ではなく、いろいろな説明会や内定式などで、市長が激励したりしている。今後は何らかの形で面接に立ち会いたいと考えている。

問 今後の更なる職員採用改革に向けた具体的な取組は。

答 ユニークな採用ポスターの作成やSPI3試験導入など改革を継続するほか、採用試験を数年前に受験した職員からアイデアを募り、より新しいことに取り組んでいきたい。

他の項目

● シティプロモーションについて

「安全・安心のまちづくり」に関して

吉波伸治議員（市民ネット）

問 遺伝子組み換え実験使用植物の取扱いで2回の事件・事故を起こした奈良先端科学技術大学院大学が今後事件・事故を起こさないよう、どんな対応をするのか。

答 生駒市学研高山地区環境保全対策委員会、大学側の詳しい説明を受けた。事故原因の究明と防止策の策定などを早急に確立させ、定期的なモニタリングの実施と適時報告を徹底させたい。

問 土砂災害警戒区域における宅地造成について、それが安全なものかどうかの十分な審査を、宅地造成許可権者である県に要請すべきではないか。

答 県に対して、今までと同様に宅地造成の安全性などを含めた十分な審査をお願いしている。

問 熊本地震で、災害時の避難できる場所となる広い空間の必要性が再認識された。それを踏まえ、北大和グラウンドを住宅用地として売却する方針を見直す方が賢明ではないか。

答 市街化区域編入について、県からの理解を得るまでの間、市体育施設として再開し、市民のスポーツ活動の場として活用する。災害時などには応急仮設住宅建設地として活用できると考えている。

本市の情報発信について

改正大祐議員（大樹）

問 市政や災害時などの情報は、SNSをはじめとする様々な広報媒体を活用し、情報を拡散させることによって、今までと違ったターゲット層に情報発信ができるかと考えるがどうか。

答 情報が拡散することで、市が対外的に伝えるべき内容が広く知れ渡るとともに、緊急時においては、より多くの市民が迅速な対応を取ることができることから、重要であると認識している。

問 本市公式ホームページに誤記載があることから、至急に再確認をするべきかと考えるがどうか。また、市のチェック体制はどのようになっているのか。

答 行政組織の改編に伴う所管課名などの修正は、各所管課において実施したが、再度、誤記載がないか確認する。

問 現在、部および課に存在するツイッターのアカウントは27あるが、効果的に発信できていると考えるのか。

答 ツイッターについては、効果的な媒体であると考えているが、フォロワー数およびツイート数が少ない部署のアカウントについては、見直す必要があると考えている。

本会議の 一般質問



子どもの安全を守る
(あすか野防犯協議会)

本市における子どもの安全を守る取組について

神山聡議員（無党派）

問 「1つでも10番の家」は駆け込みの家と見守りの家で旗の色を変えれば、子どもに分かり易く、さらに設置件数を増やせるのではないかと。改善し設置件数を増やすことはもっともだと思いが、むやみに増加させ犯罪時に効果がなかったということがないよう、協議検討する。

答 改善し設置件数を増やすことはもっともだと思いが、むやみに増加させ犯罪時に効果がなかったということがないよう、協議検討する。

問 不審者が増えてきているが、宅配業者などと子どもの見守り協定を結び、防犯力を強化させるべきではないか。

答 本市では、以前にそのような取組をしていた。これまでの経緯を整理して検討する。

問 公用車へのドライブレコーダーの設置、パトロール計画書の作成、子ども安全の日を制定すれば、犯罪抑止力の向上ができるのでは。

答 ドライブレコーダーの設置は、来年度以降検討し、パトロールも計画的に今後進めていきたい。子ども安全の日の制定はしていないが、青少年指導委員が巡回指導をしている。

市立病院の健全運営に向けた取組について

樋口清十議員（大樹）

問 指定管理者を監督する立場にある行政が、病院の運営状況を評価し、改善指導を行うため、仕組みづくりが必要と考えるがどうか。

答 事業報告書は、事業計画書に基づき作成されるものであり、提出時期が遅れるため、報告を踏まえて次年度の計画に反映させることは困難な仕組みとなっていることから、仕組みの見直しをする必要があるとともに、その中で病院事業のモニタリングなどの仕組みを考えていきたい。

問 専門的見地から病院事業を評価するため、病院機能評価制度を導入すべきと考えるがどうか。

答 市立病院管理運営協議会に事業報告を行い、意見を聴取するには評価を示す必要があると考えているが、市のみで評価を行うことは困難であることから、事業内容をチェックするツールとなる評価制度の導入について、積極的に考えていきたい。

問 病院事業計画に基づき、指定管理者の医療機関グループの全面的協力体制のもとに医師を確保するため、今後どのように取り組むのか。

答 医師の確保については、基本協定書に規定する双方の責務に基づき、今後も協力しながら進めていく。

家庭ごみ有料化の見直しについて

浜田佳寛議員（日本共産党）

問 有料化実施1年後の見直しの対象を運用面に限定するのは、結論ありきで相当ではない。計画、実施、評価、改善のPDCAサイクルの観点から、見直しの対象を限定せず、制度面も対象とすべきではないか。

答 家庭ごみ有料化がスタートして1年、市民の皆様のご協力やごみ減量意識の深まりとともに、減量の取組効果が現れていると認識しており、現状では、運用面での見直しで対応していきたい。1年の経過状況を見れば、ごみ有料化制度の継続が妥当であり、今後、毎年度の状況や効果などの評価を行い、その結果を踏まえ、必要であれば見直しを行うべきであると考えている。

問 家庭ごみの減量は、全市民協働でこそ推進でき、制度について見直しを求める市民もいる中、見直しの対象を運用面に限定するのは妥当か。

答 家庭ごみの減量を市民との協働で推進するためにも、市民会議を早急に立ち上げ、意見や課題などを提案していただくとともに、ごみ有料化制度のもとでごみ減量のモデル実施に取り組むなど、更なるごみの減量を検証していただき、効果的な取組について運用面での見直しの対象にしたいと考えている。



人目につかない場所に無造作に捨てられる廃棄物

環境保全対策について

恵比須幹夫議員（生駒市議会公明党）

問 公害苦情全体に占める割合が高い野焼きについて、市民へ正確な情報が十分に届いておらず、行為にいたる例が見受けられる。ホームページなどでの情報発信のさらなる充実が必要かと考えるが。

答 廃棄物の焼却禁止及び法定基準を満たさない焼却炉の使用禁止、農作業の野焼きのルールについて、ホームページなどで情報発信している。野焼きの規制について、農業を営む上でやむを得ない焼却などは、認められるなど例外もあり、可能な限り明確に整理して周知していきたい。

問 不法投棄、野焼きの早期発見・早期対応を前提に、民間事業者と連携した監視ネットワークの構築や、SNSを活用した通報システムの導入も検討の余地があると考えるが。

答 現在は自治会や通行者からの通報で情報を把握し、対応している。民間との連携やSNSの活用は有効な手段と考えており、運用を開始した道路通報サービスの実施状況などを検証するとともに、不法投棄の通報は昨年度で500件程度あるため、対応方法を整理して検討したい。

他の項目

● 水銀規制への対応について

山麓公園の指定管理業務は適正か

塩見牧子議員（無党派）

問 山麓公園のレストラン厨房において、指定管理者が自主事業で食品加工、出荷しているのは都市公園法に違反し、また、市もその行為を容認していたのではないか。

答 現在のレストラン業務の実態に即して考えると、直ちに違法とは認識していない。改めて、事実関係や都市公園法の規定、その趣旨、解釈などについて関係機関の見解も確認しながら、整理していきたい。

問 山麓公園は公園機能を拡充し、障がい者就労支援の場にするということでもモンベル・あおはに共同体に一者指定で選定されたが、当初計画と比べ、施設整備、就労支援の利用状況はどうか。

答 現在、障がい者就労支援は、計画182名に対し、25名である。当初予定のビジターセンターなどが未着手であり、公園施設利用者も少なく、また、他の作業所から公園内に移る環境の変化に慣れないなど、障がい者の活動や訓練の場の伸び悩みが原因と考える。まずは、公園施設の利用を促進し、その上で予定施設を設置すべきと考えている。

他の項目

● 家庭系指定ごみ袋作製請負契約について

公契約の適正化と地域経済活性化について

久保秀徳議員（日本共産党）

問 公共工事に関して、本市は県下で年間平均落札率が最低であるが、これをどのように認識し、また低入札による労働条件などへの影響に対し対策を講じているか。

答 過度な低入札は、品質の低下などを招き、市民の安全確保や建設業の健全な発展を阻害するものと認識しているが、本市は、最新の労務単価などを使用して予定価格を設定するとともに、原則最低制限価格を設け品質の確保などを図っている。

また、検査を頻繁に行い労働現場の実態把握もしている。

なお、最低制限価格を上げることからは歳出の増加につながることから、慎重に考えなければならぬ。

問 地域経済の活性化や地元業者の受注機会を増やす観点から工事の分離・分割発注に対する考えは。

答 施工管理が困難、責任が不明確、工事費が割高になるなどのデメリット面もあり慎重に考えていきたい。

問 適正な労働条件の確保と公共サービスの質の向上を目的とした「公契約条例」制定が必要と考えるが、本市が制定する考えは。

答 他市の運用状況を研究しながら慎重に検討する。

本会議の 一般質問

被災地熊本へ向かうトラックに救済物資を積み込む職員



熊本地震支援の経験をいかす取組を

伊木まり子議員（無党派）

問 市や市立病院の職員は現地ですどのような活動をしたのか。

答 市上下水道部職員と上水道協同組合職員は、給水管などの漏水調査と修繕業務に従事し、福祉健康部の保健師は、担当地区の巡回や避難所で、健康状態のチェック、感染予防活動に従事した。

また、市民部課税課職員は、家屋被害認定支援業務に従事し、市立病院スタッフは、避難所などで、被災者への治療に貢献した。

問 市は活動をどう評価しているか。
答 支援活動を通して得たものが多く、大いに評価しており、今後の防災行政に役立つと考えている。

問 熊本地震の教訓を今後にいかすために広報いこまちで特集記事組んではどうか。

答 防災については、年2回程度記事を掲載しているが、熊本地震についての掲載も考えている。

問 夏休みに親子や市民向けに熊本地震支援報告会を開催しては。

答 現時点では考えていないが、今後の検討課題としたい。

他の項目

● 乳幼児健康診査について

● 市立病院設置者として市の役割は

地域をまるごとケアする地域包括ケアシステムの推進状況は

沢田かおる議員（市民ネット）

問 本市における地域包括ケアシステム構築の進捗状況と目指す方向性は。

答 医療介護連携の促進、認知症対策の推進、高齢者の生活支援体制の充実などの様々な取組を行っており、おおむね順調に進んでいる。地域包括ケアシステムの構築は、全ての市民に関係し、まちづくりと一体不可分のものであり、市民と行政が連携して取り組んでいく。

問 在宅医療と認知症を含む介護には、家族を支えることも必要であるが、本市の課題は。

答 在宅医療と介護の切れ目のない連携体制の構築を進め、家族などの介護者への支援を充実させるとともに、認知症サポーターの養成にも引き続き取り組む。在宅介護に不安や負担感を抱かれる家族に対し、きめ細やかなサービスの充実や情報提供を含め、更なる普及啓発をしていく。

問 市民・行政・医療介護機関の三者の協働により豊かな地域社会を構築できると思うが、今後の予定は。

答 医療介護関係者による他職種連携の研修や市民向けのフォーラムを実施し、地域包括ケアへの理解を進めていきたい。

市立病院の管理運営サイクルの構築について報告を受ける

6月27日に開催された厚生消防委員会では、市立病院の平成27年度事業報告書に基づく平成27年度実績と併せ、市立病院の管理運営に係る今後の取組について報告を受け、質疑しました。

今後の取組内容として、年度事業計画に前年度の実績評価を反映できていないことなどの課題があることから、前年度と当該年度上半期の実績を評価し、改善すべき点を次年度の計画に反映する管理運営サイクルを構築していく方針が示されました。



病院の運営状況を調査
(厚生消防委員会)

6月定例会

感謝状が贈られました

5月31日に開催された全国市議会議長会定期総会において、同会評議員、国会対策委員会委員および国と地方の協議の場等に関する特別委員会委員として会務運営に努められた功績により、中谷尚敬議長に同会から感謝状が贈られ、6月10日開会の本会議において、報告されました。



中谷尚敬議長

スーパークールビズのお知らせ

本市では、環境への配慮を図るとともに、夏の節電対策事業の一環として、7月1日から9月30日まで、ポロシャツなどの着用を認めるスーパークールビズを実施しています。空調が28度設定のため、会議中は暑い場合もありますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

シエイクアウト訓練を行い、 普通救命講習を受けました

今年4月に熊本県を中心とする大きな地震が発生し、多くの尊い命が失われました。

7月11日(月)に、「緊急速報メール受信確認訓練」および「シエイクアウトいこま(一斉地震行動)訓練」が実施されたことから、市議会もこの訓練に参加することによって、議員の防災意識の向上に努めるとともに、消防署の協力のもと、普通救命講習を受講しました。



シエイクアウト訓練とは、生駒市一斉地震行動訓練のことで、緊急速報メール(エリアメール)を受信したら、約1分間の安全行動(①姿勢を低くし、②頭を守り、③揺れが収まるまで動かない)を実施します。地震が起きたらまず自分の身を守ることが大切だとわかっていても、とっさに行動できないものです。この訓練をきっかけに普段の暮らしの中の防災を考えることができました。



また、応急手当の大切さを学び、自然災害や事故などの緊急事態において人命救助を適切に行えるため、消防署の普通救命講習を受講し、人工呼吸、心臓マッサージ、AED(自動体外式除細動器)を使用しての心肺蘇生法の実技講習を各グループに分かれて受講しました。

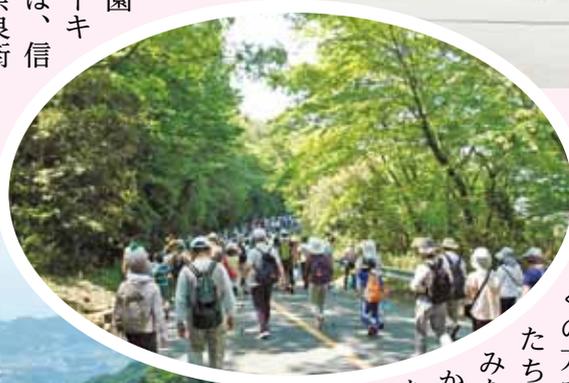
実技講習では、実際に人が倒れている場面に遭遇したと仮定し、議員全員が大きな声を出して真剣に取り組みました。

風薫る新緑の生駒山をウォーキング



を満喫しながらゴールまで歩くことができました。
 普段は歩くことができない信貴生駒スカイラインでは、数々の展望スポットから素晴らしい眺めを見ることが出来ます。

小さなお子様から年配の方まで多くの方が参加され、私たちも会話を楽しみながら、さわやかな新緑の季節を実感することができました。



議員共済会は、5月21日(土)に開催された「生駒山スカイウォーク」に参加しました。
 スタート地点の生駒山上遊園地駐車場は晴天で絶好のウォーキング日和となり、私たち議員は、信貴生駒スカイラインから暗越奈良街道(暗峠)を通して、南コミュニティセンターまでの約7・1キロメートルを約2時間かけて歩きました。

日差しが強く、大変暑い日となりましたが、途中に休憩をとったり、皆さんとあいさつを交わしたりしながらゆっくりと歩き、生駒山の自然



熊本地震災害に対する義援金募金活動

この度の熊本県を中心に発生した地震で被災された皆様方に心からお見舞いを申し上げます。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、一日も早い復旧復興を心からお祈り申し上げます。

議員共済会では、熊本地震災害にともなう被災者救援の一助としていただくため、微力ではありますが、4月22日(金)及び23日(土)に生駒駅周辺で義援金の街頭募金活動を実施しました。



皆様の温かいご支援により、2日間で、106万2100円のご協力があり、議員共済会からの20万円を合わせて、総額126万2100円を4月26日に九州市議会議長会に送金し、被災地に届けられました。

募金にご協力をいただきました方々に、厚くお礼申し上げますとともに、今後とも、皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

なお、市役所1階や公共施設などにおきましても、引き続き義援金の募金を受け付けておられます。

平成28年5月臨時会・6月定例会の議決結果

議案名	議決結果	久保秀徳	松本守夫	片山誠也	改正大祐	神山聡	山田耕三	沢田かおる	西山洋竜	恵比須幹夫	成田智樹	桑原義隆	吉村善明	竹内ひろみ	浜田佳貴	塩見牧子	樋口清士	中浦新悟	福中眞美	白本和久	吉波伸治	伊木まり子	下村晴意	井上充生	
次期介護保険制度改正における福祉用具貸与及び住宅改修に係る給付の見直しに関する意見書について	原案可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度生駒市一般会計補正予算(第1回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

中谷議長は、地方自治法の規定により、議決に加わることができません。

○=原案賛成

●=原案反対

全会一致で原案可決・承認・同意・了承した議案

- ・市長専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額の決定について)
- ・専決処分につき承認を求めることについて
(生駒市税条例等の一部を改正する条例の制定について)
- ・専決処分につき承認を求めることについて
(生駒市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について)
- ・専決処分につき承認を求めることについて
(生駒市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)
- ・専決処分につき承認を求めることについて
(生駒市立幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例の制定について)
- ・専決処分につき承認を求めることについて
(生駒市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について)
- ・生駒市監査委員の選任について
- ・平成27年度生駒市一般会計繰越明許費繰越計算書
- ・平成27年度生駒市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書
- ・平成27年度生駒市水道事業会計予算繰越計算書
- ・平成27年度生駒市水道事業会計継続費繰越計算書
- ・平成28年度生駒市国民健康保険特別会計補正予算(第1回)
- ・生駒市個人番号利用条例の一部を改正する条例の制定について
- ・(仮称)生駒北学校給食センター整備運営事業者選定委員会条例の制定について
- ・生駒市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の制定について
- ・生駒北小中学校屋内運動場・プール改修及び北側通路路整備工事請負契約の締結について
- ・財産の取得について(フルコンサートグランドピアノ)
- ・財産の取得について(化学消防ポンプ車)
- ・市道路線の認定について
- ・市道路線の廃止について
- ・生駒市防災行政MCA無線(同報系)整備事業請負契約の締結について
- ・桜ヶ丘小学校老朽化対策工事(北棟・昇降口棟)請負契約の締結について
- ・生駒市体育施設の指定管理者の指定について

就任のあいさつ

議長、副議長の就任にあたりまして、一言、ごあいさつ申し上げます。生駒市議会では、議員自らがより良い市政の実現への意思と高い倫理性を持って公平に、公正に、および誠実に職務にあたり、市民の皆様からの信頼と負託に応えられる議会の実現に向けて取り組んでおります。

私たちとしても、公平、公正、かつ円滑な議会運営に努めるとともに、二元代表制の一翼を担う議会として、「行政の監視機能」はもとより「政策立案機能」の充実に向けて、その使命を全うすべく、全力を傾注する所存でありますので、引き続き、一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



桑原義隆 副議長

中谷尚敬 議長

5月臨時会

議会役員を改選

5月臨時会は、5月11日に開会し、正副議長の選挙をはじめ、監査委員や議会運営委員会委員の選任など、議会役員を決定しました。

議長に中谷尚敬 議員 副議長に桑原義隆 議員

11日の本会議では、議長選挙を行い、投票の結果、中谷尚敬議員が第45代議長に当選しました。

続いて、副議長選挙を行い、投票の結果、桑原義隆議員が第45代副議長に当選しました。

監査委員に白本和久 議員

続いて、議会選出の監査委員に白本和久議員を選任することに異議なく同意しました。

また、常任委員会（企画総務、市民文教、厚生消防、都市建設、予算）、議会運営委員会、広報広聴委員会の委員を選任するとともに、各委員会の正副委員長を決定しました。

新議会役員は、市議会ホームページに掲載しております。

議会のうごき

7月	6月	5月	4月
19日		16日	27日
12日		11日	議会運営委員会
		6日	市民文教委員会
27日		9日	議会説明会
22日		6日	議会運営委員会
		1日	議会説明会
	20日	1日	議会説明会
		6日	議会運営委員会
	17日	10日	全員協議会
		13日	6月定例会本会議
		14日	議案説明会
		17日	6月定例会本会議
			議会運営委員会
			都市建設委員会
			厚生消防委員会
			予算委員会
			市民文教委員会
			企画総務委員会
			予算委員会
			災害対策委員会
			予算委員会
			6月定例会本会議
			広報広聴委員会
			厚生消防委員会
			企画総務委員会
			広報広聴委員会

9月定例会の会議の予定

9月5日(月)13時	議案説明会
9日(金)10時	議会運営委員会
14日(水)13時	全員協議会
14日(水)10時	本会議(一般質問)
15日(木)10時	本会議(一般質問)
16日(金)10時	本会議(一般質問)
20日(火)10時	本会議(一般質問)
23日(金)10時	都市建設委員会
	予算委員会
	厚生消防委員会
	予算委員会
26日(月)10時	市民文教委員会
	予算委員会
	企画総務委員会
	予算委員会
28日(水)10時	予算委員会
29日(木)10時	決算審査特別委員会
30日(金)10時	決算審査特別委員会
10月3日(月)10時	決算審査特別委員会
4日(火)10時	決算審査特別委員会
7日(金)10時	本会議

予定は変更する場合がありますので、市議会ホームページや電話でお確かめください。

電話は、議会事務局(0743-741111・内線604)へお問い合わせください。